

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
 よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 25 年 5 月 7 日（火）ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容 器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
6466 2	活性型GIP (抽出法)	速やかに 冷却遠心 血漿 (採取時 DPP-IV inhibitor 加 各 0.5	D ↓ X	凍結 (28日)	事前にご 確認くだ さい。		前処理： 固相抽出 測定法： ELISA	(pmol/L)	あらかじめ冷却した指 定の容器(D)に採血し、 30 秒以内に DPP-IV inhibitor (血液 1.0mL に対し 10μL) を加え、 混和後速やかに冷却遠 心し、血漿分離してただ ちに凍結保存してくだ さい。活性型 GLP-1(抽 出法)以外との重複依頼 は避けてください。&L
6467 0	活性型GIP (非抽出法)						ELISA	(pmol/L)	

● 活性型 GIP (抽出法)
 ● 活性型 GIP (非抽出法)

インスリン分泌を促進する代表的なインクレチンである GIP を新規受託開始いたします。

インクレチンは、食事摂取に伴って消化管から分泌され、膵β細胞に作用してインスリン分泌を促進するホルモンです。代表的なインクレチンとして、上部小腸の K 細胞から分泌される GIP と、小腸下部の L 細胞から分泌される GLP-1 が知られています。GLP-1 と GIP は、食後、血糖依存的にインスリン分泌を促進して血糖の濃度を調節する作用を持っています。この作用は、低血糖のリスクが少ないという利点から、2 型糖尿病の新しい療法であるインクレチン関連薬に応用されてきました。

このたび、活性型 GIP の抽出法および非抽出法を、新規受託開始いたします。GIP は、インクレチン効果以外に、脂肪やカルシウムの貯蔵などの多彩な膵外作用についても、さかんに研究が進められています。

▼対象疾患

- 糖尿病

▼関連項目

- インスリン
- グルカゴン
- 活性型 GLP-1 (抽出法)

▼検査要項

検査項目名	活性型GIP (抽出法)	活性型GIP (非抽出法)
項目コード No.	6466 2	6467 0
検体量	血漿 (採取時 DPP-IVinhibitor 加) 0.5 mL	血漿 (採取時 DPP-IVinhibitor 加) 0.5 mL
容器	D → X	
保存方法	必ず凍結保存してください。	
所要日数	事前にご確認ください。	
検査方法	前処理：固相抽出 測定法：ELISA	ELISA
基準値 (単位)	(pmol/L)	
実施料	未収載	
判断料	未収載	
備考	あらかじめ冷却した指定の容器 (D) に採血し、30 秒以内に DPP-IV inhibitor (血液 1.0mL に対し 10μL) を加え、混和後速やかに冷却遠心し、血漿分離してただちに凍結保存してください。活性型 GLP-1 (抽出法) 以外との重複依頼は避けてください。 &L	

●臨床的意義参考文献

矢部 大介, 他: 医学のあゆみ 233 (5): 393~398, 2010.